

二〇二五年度

早稻田大学大学院文学研究科

入学試験問題

【博士後期課程】

専門科目

中国語中国文学コース

※解答は別紙(縦・横書)

[問一～四の回答順は自由でよいが、必ず問の番号を記してから答えること]

問一 次のア～ソの中から十項目を選び、簡潔に説明せよ。(時代の分かるものは必ず時代を記すこと)

ア 謝冰心	イ 『詩品』	ウ 曲譜	エ 状態形容詞	オ 『呼蘭河伝』
カ メタ認知	キ 孔尚任	ク 李商隱	ケ 高行健	コ i + 1
サ 韻目	シ 楊万里	ス 『枕中記』	セ 破音	ソ 文芸講話

問二 次の文を読んで、全文を日本語に訳せ。

韋蘇州、唐史不爲立傳。按、其行事頗逸。按白樂天「吳郡詩石記」云、「貞元初、韋應物爲蘇州刺史」。後三十七年、樂天亦佩蘇印、實寶曆元年。記中目應物爲碩人、則在當時已有重名。應物詩清深妍麗、有六朝風致。其自敘乃謂少時以三衛郎事元宗、豪縱不羈。元宗崩、始折節讀書。然觀其人、賦性高潔、鮮食寡欲。所居、掃地焚香而坐。而詩格高潔、不似晚節把筆學爲文者。豈其自敘之過與。然天寶間不聞蘇州詩、則其詩晚乃工耳。

(范成大『吳郡志』卷四十八)

(注) 元宗……唐玄宗

問三 次の文の傍線部①②を日本語に訳せ。

【北仙呂】【點絳脣】①〔小生扮李靖上〕寶劍橫腰，尋師訪道，程途杳，日掛林梢，問何處停驂好？

吾乃三原李靖，年方弱冠，出自將門。俺舅舅韓擒虎，是當今第一員上將，他平吳之後，把一身武藝、各種韜鈴，都傳授於我。只是文武不能兼備。聞得如今龍門山下，有個文中子先生，他道行甚高，俺要去從他，學道三年，方才出世，自然做得個擎天巨手，竹帛揚名，故此取路前來，尋俺師父，說話中間，不覺天色已晚，有誤程頭。你看樹林中，一點火光，想有人家也。不免上前叩門則個。②〔老旦扮龍母上〕恐有燃犀客，須防煮海人。那個扣門？〔小生〕驚動老母，不知寶莊，可容借宿？〔老旦〕郎君休怪，老身孩兒出去，家下無人，沒奈何，這莊外團瓢裏面，郎君將就些罷。〔小生〕但免露宿，便承老母厚意了。〔老旦〕非怪雨落天留客。〔掩門下〕〔小生〕難道天留人不留。〔下〕

(清 楊潮觀『吟風閣雜劇』「李衛公替龍行雨」)

〔注〕 驂…一車駕三馬。泛指馬車。 韜鈴…指兵法。 燃犀…東晉溫嶠在牛渚磯點燃犀角來照看水怪奇形異狀。後借用爲明燭事物，洞察奸邪。 煮海…傳說，秀才張羽同龍女相約爲夫婦，後但受到龍王阻止，張羽得寶物，煮沸大海，制服龍王，纔得以成。 團瓢…圓形的小屋。

問四 次の文を読んで、以下の問いに答えよ。

- (1) 「」で囲まれたA・Bの部分を日本語に訳せ。
(2) 波線部①と②の現代中国語音をピンインで記せ。(声調符号も含む。横書きすること)

※この部分は、著作権の関係により掲載できません。

受験番号	
氏名	カナ
	漢字

この欄以外に受験番号、氏名を記入しないこと。

漢字氏名がない場合は、ひらがなで記入すること。

——から記入すること

中国語中国文学コース
専門

総 点

(裏へ続く)

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——

[illegible]

———から記入すること———

(裏へ続く)

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——